

事業報告書

事業名	令和7年度精神保健福祉士リーダー研修事業
事業の実施状況	<p>1. 精神保健福祉士等のスーパービジョンを担うリーダーの養成</p> <p>1) 認定スーパーバイザー養成研修（第21回） 基礎編 2025年8月1日（金）～3日（日） リファレンス西新宿大京ビル貸会議室（東京都） 受講者13人 実践編における研修 2026年2月15日（日） 城西国際大学 東京紀尾井町キャンパス（東京都） 受講者12人</p> <p>2) 認定スーパーバイザー養成研修・実践編（第20回） 実施期間：2024年8月5日（月）～2025年6月1日（日） 査読期間：2025年6月2日（月）～2025年8月28日（木） 追加課題：個別面談（対面）2025年8月1日（金）、 （Zoom）12日（火）、25日（月） 再提出 2025年8月8日（金） 再々提出 2025年8月25日（月） 受講者12人</p> <p>3) 認定スーパーバイザー更新研修 第24回 2025年8月2日（土） リファレンス西新宿大京ビル貸会議室（東京都） 受講者4人 第25回 2025年11月3日（月祝）（Zoom） 受講者19人</p> <p>4) 2021年度本助成事業作成動画「グループスーパービジョン」動画視聴 講師：龍谷大学名誉教授 荒田寛氏 第20回養成研修受講者への視聴推奨 視聴回数3回</p> <p>5) ブロック別グループスーパービジョン（グループSV）体験会（Zoom）</p> <p>（1）中国ブロック 委員会 第1回 4月23日（水）出席者8人 第2回 5月21日（水）出席者9人 第3回 6月18日（水）出席者9人 GSV体験会 オリエンテーション 9月24日（水）SVE6人、委員3人 GSV 第1回 10月22日（水）SVR1人、SVE6人、委員2人 第2回 12月10日（水）SVR1人、SVE6人、委員2人</p> <p>（2）四国ブロック 委員会 第1回 8月29日（金）出席者5人 第2回 3月11日（金）出席者4人 GSV体験会</p>

	<p>第1回オリエンテーション 8月28日(木) SVE5人、委員3人 GSV 10月2日(木) SVE5人、委員3人 第2回オリエンテーション 1月26日(土) SVE5人、委員3人 GSV 2月21日(土) SVR1人、SVE3人、委員2人</p> <p>(3) 東北ブロック 委員会 第1回4月11日(水) 出席者8人 第2回5月19日(月) 出席者8人 第3回8月19日(火) 出席者6人 第4回2月9日(月) 出席者7人 スーパービジョン勉強会 2月28日(土) 参加者24人、委員8人</p> <p>6) 研修の企画運営に係る委員会等の開催 委員会(2回) 第1回9月16日(日) Zoom、出席者14人 (Zoom) 第2回12月14日(日) 出席者14人 (L stay & grow 晴海 (東京都)) 査読基準検討小委員会(5回) (Zoom) 第1回6月18日(水) 出席者4人 第2回11月11日(火) 出席者4人 第3回11月27日(日) 出席者4人 第4回12月21日(日) 出席者4人 第5回3月7日(土) 出席者4人</p> <p>7) 査読委員会の開催(3回) (Zoom) <第20回最終審査/3班> A班 7月21日(月) 出席者4人 B班 7月13日(日) 出席者4人 C班 7月19日(日) 出席者4人 <第21回中間審査/3班> A班 1月19日(月) 出席者4人 B班 1月20日(火) 出席者4人 C班 1月16日(金) 出席者5人</p> <p>8) 認定スーパーバイザー登録者数 148人 (2026年3月31日現在/2023年度末138人)</p> <p>2. 成年後見活動に従事し、または制度利用支援を行うリーダーの養成</p> <p>1) 認定成年後見人養成研修 入門編 (eラーニング及びZoom) 第1回2025年5月16日(金)～6月8日(日)、6月28日(土) 受講者64人 第2回2025年7月25日(金)～8月17日(日)、9月7日(日) 受講者55人</p> <p>2) 認定成年後見人養成研修 応用・実務編 (eラーニング及びZoom) 12月12日(金)～2026年1月5日(月)、A日程1月25日(日)、</p>
--	--

	<p>B日程 2月 21日 (土) 受講者 76人</p> <p>3) クローバー登録者継続研修 (集合研修) (Zoom) 第 25回 2025年 10月 5日 (日) 受講者 51人 第 26回 2025年 11月 29日 (土) 受講者 37人</p> <p>4) クローバー登録者継続研修 (eラーニングによる学習課題) 2025年 12月 25日 (木) ~2026年 2月 6日 (金)、受講者 177人</p> <p>5) 成年後見人養成研修及び講義聴講 受講者 19人</p> <p>6) 研修の企画運営に係る委員会 第 2回 9月 14日 (土) 出席者 10人 (ビジョンセンター田町 (東京都)) 第 3回 12月 16日 (火) Zoom、出席者 12人 クローバー登録者数 292人 (2026年 3月 31日現在/2024年度末 267人)</p>
<p style="text-align: center;">事業の成果</p>	<p>全国 (都道府県) において、精神保健福祉士として精神障害のある者をはじめとしたメンタルヘルス課題を有する者に対して、適切な相談援助活動等が担えるリーダーの養成を目的に次の 2 種類の研修事業を実施した。</p> <p>なお、オンライン形式は、感染症対策による運営方法として参加者にも浸透しており、かつ利便性も高いことから継続するとともに、一部対面研修も再開することとした。</p> <p>1. 精神保健福祉士等のスーパービジョンを担うリーダーの養成</p> <p>精神保健福祉士は、1997年 12月の精神保健福祉士法制定から 20 数年が経過し、若年層や実践経験の浅い精神保健福祉士、様々な領域に広がる精神保健福祉士に対し、全国各地でスーパービジョンの必要性は高まっている。スーパービジョンの敷居が高いというイメージを払拭し、個別あるいはグループによるスーパービジョンの活用を定着するために、グループSVの活用を念頭に置き作成した「ブロック・都道府県においてオンラインによるGSVを実施するための手引き」は、各地でのグループSV体験会の実施につながっており、スーパービジョンの活用促進の具現化の 1 つといえる。</p> <p>本研修によるスーパーバイザーの養成並びに更新は、スーパービジョン活用の定着化や認定スーパーバイザーの更なる学びの機会提供に必要不可欠である。同時に、スーパービジョンの活用は、精神保健福祉士の専門的力量の向上だけでなく、精神保健福祉士の専門職としてのアイデンティティの醸成の役割を担うことができる。個別、グループ、対面、オンラインといった様々な形態のスーパービジョンを展開していくことは、スーパービジョンの活用の機会を広げるだけでなく、多様なニーズに応じて選択的にスーパービジョンを活用するために必要なことである。本事業によるリーダー養成の取り組みは、スーパービジョンを活用した基本的な人材育成体制を盤石化するための一翼を担っていると考える。</p> <p>2. 成年後見活動に従事し、または制度利用支援を行うリーダーの養成</p> <p>全体を通して以下の成果を報告する。</p> <p>1) 後見実務の実際が掴みやすくなった。 普段は支援者として成年後見人等の働きの一部だけしか知らない受講者</p>

	<p>も、講義、演習、事例検討を経て、具体的に理解ができたとの声が多かった。</p> <p>2) 後見実務の不安を和らげる機会の提供 「現実には自分は後見実務ができるのか」という不安の声もあったが、ファシリテーターや経験者からの支持的な介入により不安を整理する機会となった。</p> <p>3) 目的意識の高い受講者の獲得 本研修の受講者は受講態度や報告内容から「権利擁護の実践者として」「成年後見人として」の目的意識の高さが共通していた。</p> <p>4) 平素の援助業務への影響 ただ制度を理解するのではなく、何のために利用するのかについて深く考える機会となり、平素の援助業務への効果が期待できる。</p>
--	--